

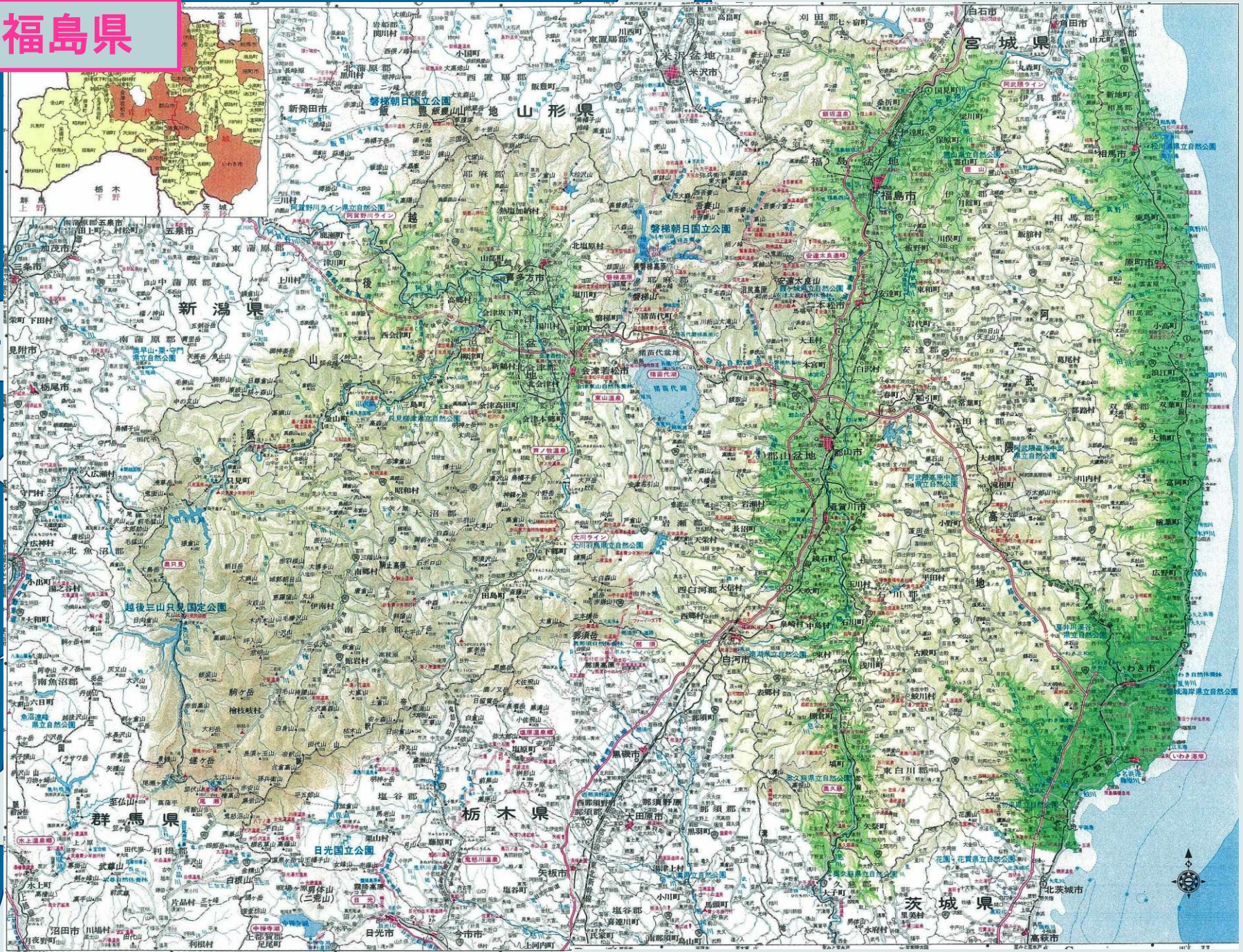
# 東日本大震災

## —福島からの報告—

福島県立医科大学医学部神経精神医学講座

丹羽 真一

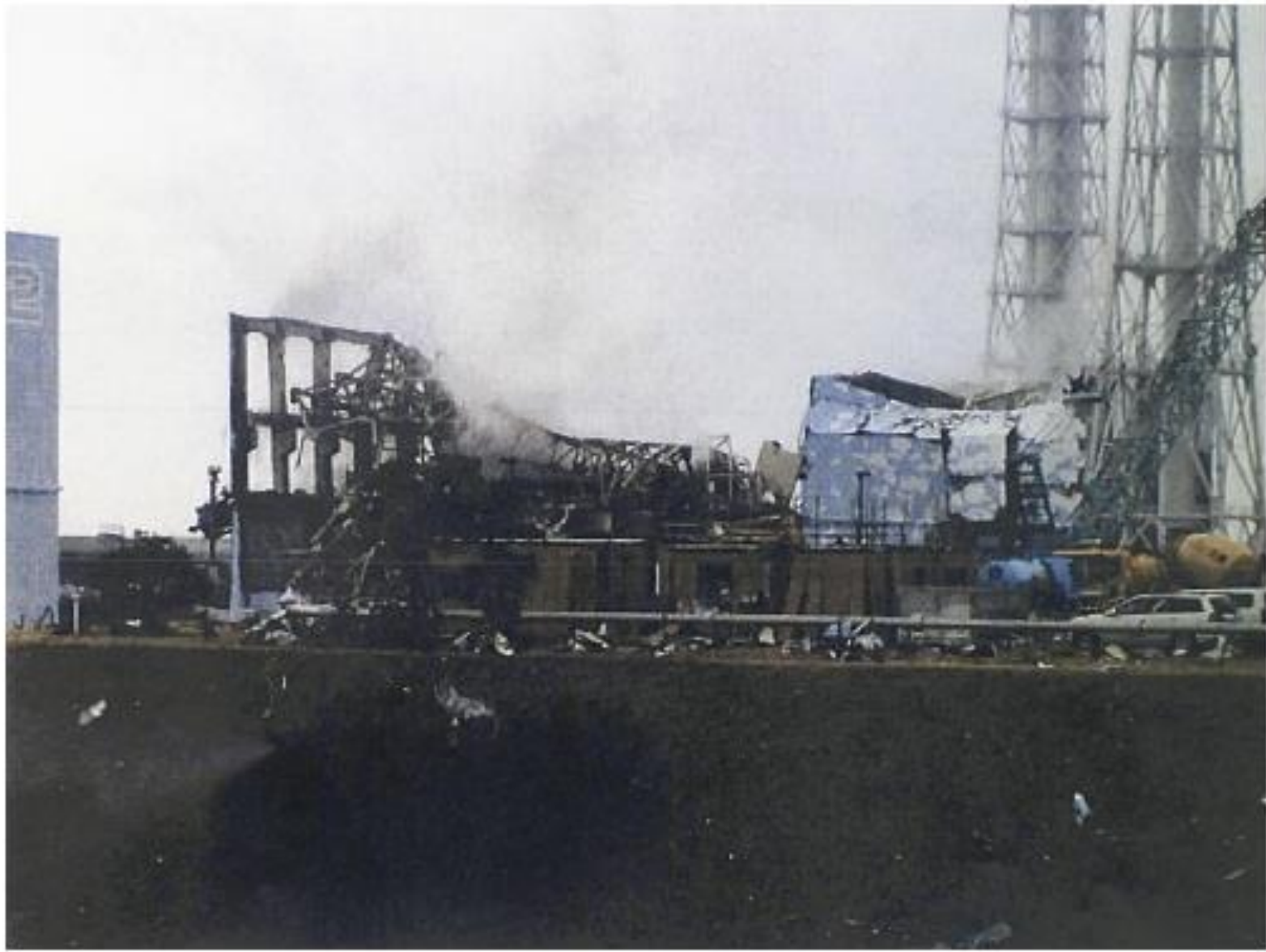
# 福島県



A map of East Asia, including parts of China, Korea, and the Japanese archipelago. A large purple oval highlights the Japanese archipelago. The text "被災の状況" (Disaster Situation) is written in yellow Japanese characters across the center of the oval.

# 被災の状況





煙を上げる福島第一原発の3号機周辺(21日午後5時15分) = 東京電力提供

# 福島県内の避難所と避難者

避難所

避難者

3月16日

403

73608

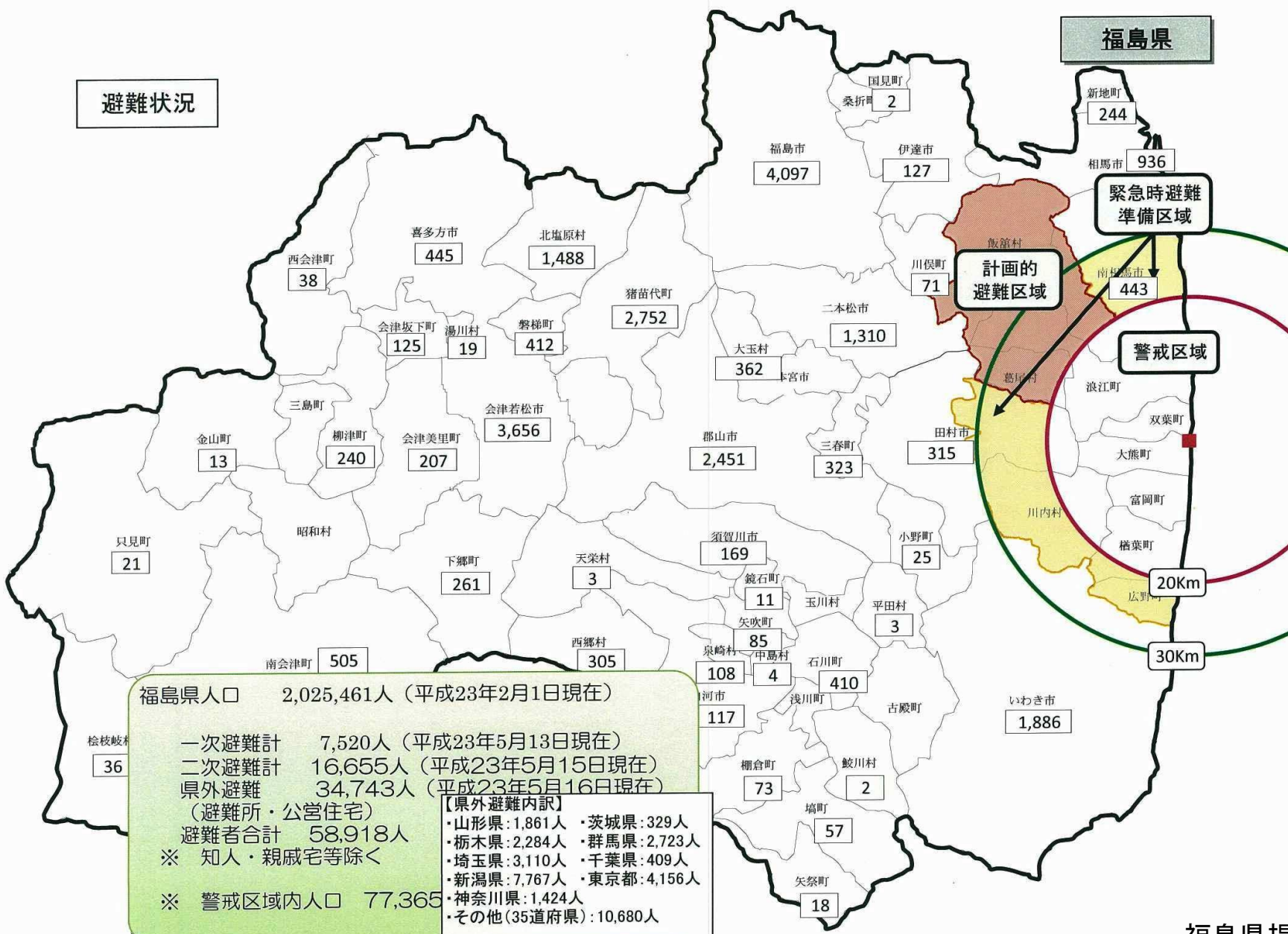
5月16日

121

7329



### 避難状況



福島県人口 2,025,461人（平成23年2月1日現在）

一次避難計 7,520人（平成23年5月13日現在）  
 二次避難計 16,655人（平成23年5月15日現在）  
 県外避難 34,743人（平成23年5月16日現在）  
 （避難所・公営住宅）  
 避難者合計 58,918人  
 ※ 知人・親戚宅等除く

※ 警戒区域内人口 77,365人

【県外避難内訳】  
 ・山形県:1,861人 ・茨城県:329人  
 ・栃木県:2,284人 ・群馬県:2,723人  
 ・埼玉県:3,110人 ・千葉県:409人  
 ・新潟県:7,767人 ・東京都:4,156人  
 ・神奈川県:1,424人  
 ・その他(35道府県):10,680人

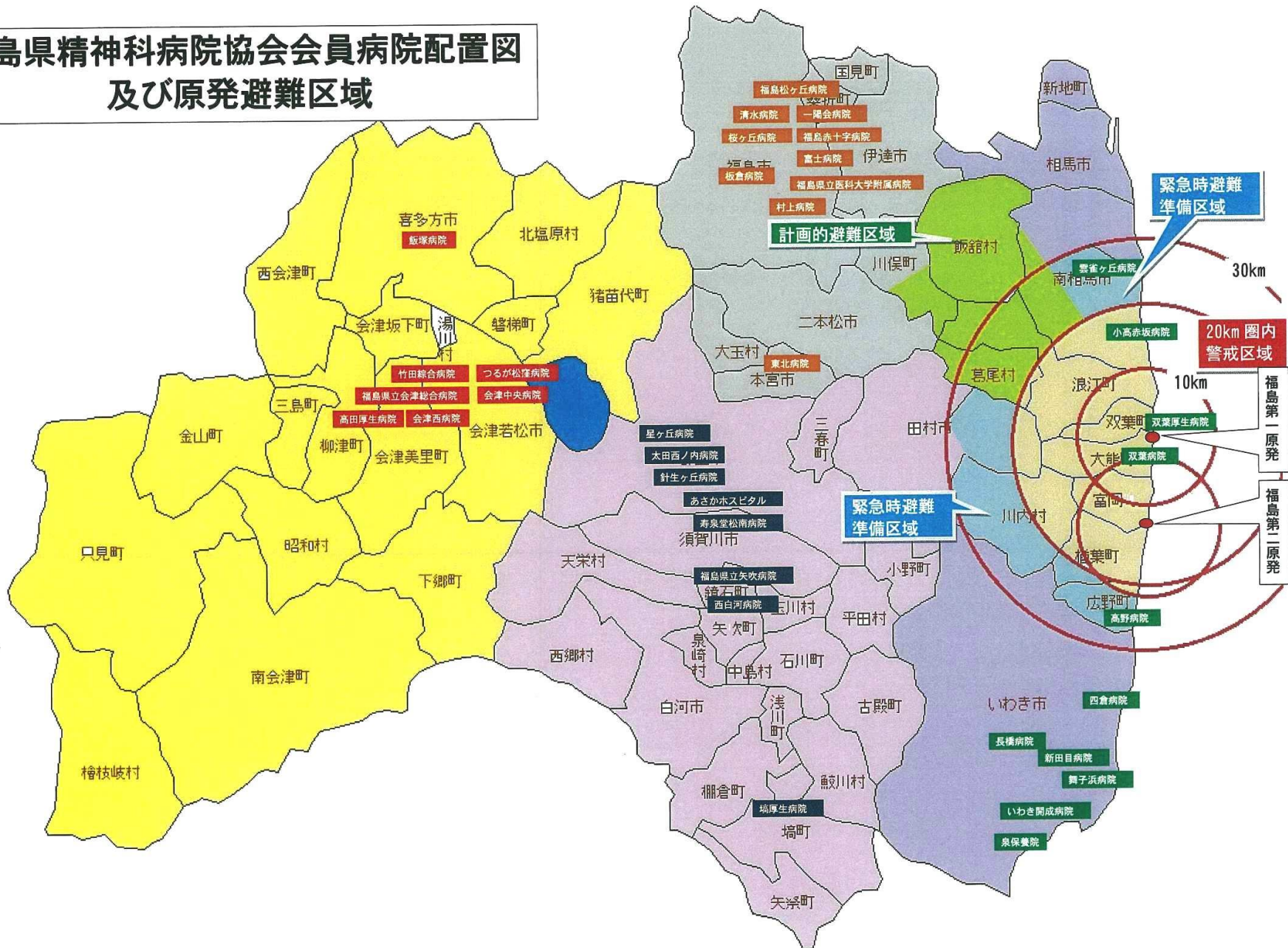


# 精神科医療システムにおきた 障害の状況





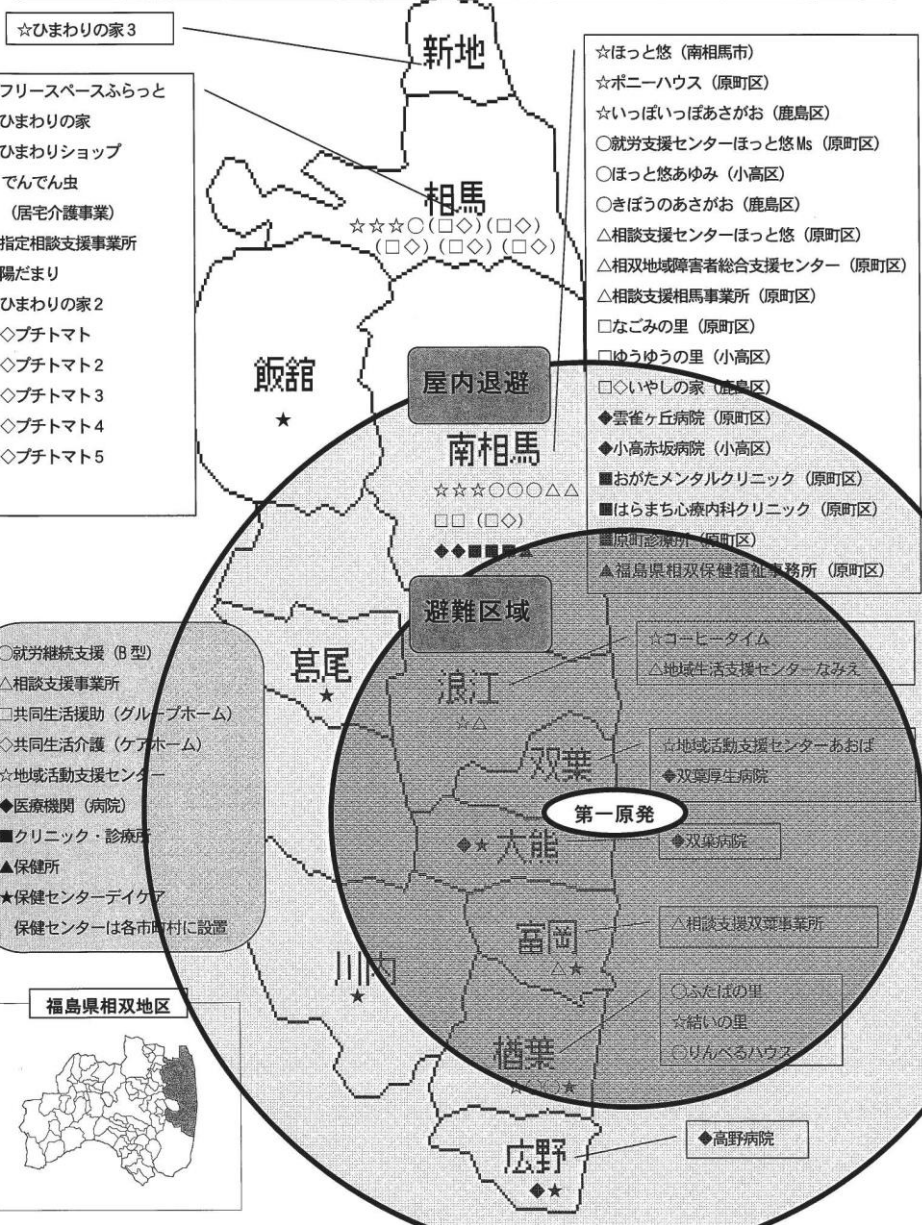
**福島県精神科病院協会会員病院配置図  
及び原発避難区域**



# 相双地区社会資源マップ（精神）

平成 21 年 6 月現在のマップをもとに作成

4 月 10 日現在 地域生活支援研究会 5 周年記念号より引用 作成者 米倉一磨



☆ひまわりの家 3

- ☆フリースペースふらっと
- ひまわりの家
  - ひまわりショップ
  - でんでん虫 (居宅介護事業)
  - ☆指定相談支援事業所
  - 陽だまり
  - ☆ひまわりの家 2
  - ◇プチマト
  - ◇プチマト 2
  - ◇プチマト 3
  - ◇プチマト 4
  - ◇プチマト 5

- 就労継続支援 (B 型)
  - △相談支援事業所
  - 共同生活援助 (グループホーム)
  - ◇共同生活介護 (ケアホーム)
  - ☆地域活動支援センター
  - ◆医療機関 (病院)
  - クリニック・診療所
  - ▲保健所
  - ★保健センター・デイケア
- 保健センターは各市町村に設置



- ☆ほっと悠 (南相馬市)
- ☆ポニーハウス (原町区)
- ☆いっばいっばあさがお (鹿島区)
- 就労支援センターほっと悠 Ms (原町区)
- ほっと悠あゆみ (小高区)
- きぼうのあさがお (鹿島区)
- △相談支援センターほっと悠 (原町区)
- △相双地域障害者総合支援センター (原町区)
- △相談支援相馬事業所 (原町区)
- なごみの里 (原町区)
- ゆうゆうの里 (小高区)
- ◇いやしの家 (鹿島区)
- ◆雲雀ヶ丘病院 (原町区)
- ◆小高赤坂病院 (小高区)
- おがたメンタルクリニック (原町区)
- はらまち心療内科クリニック (原町区)
- 原町診療所 (原町区)
- ▲福島県相双保健福祉事務所 (原町区)

- ☆コーヒータイム
- △地域生活支援センターなみえ

- ☆地域活動支援センターあおば
- ◆双葉厚生病院

- ◆双葉病院

- △相談支援双葉事業所

- ふたばの里
- ☆結いの里
- りんべるハウス

- ◆高野病院



現在、抱えている精神科医療  
の課題

# 放射能被ばくに関連する精神的問題 について

- ・ 原発から離れた地域の方が不安を口にする人が多い傾向
- ・ 放射能恐怖で受診する人は少ない印象
- ・ 放射能被ばくからくる生活の不安が精神的問題につながる可能性

A stylized map of East Asia, including parts of the Korean Peninsula, the Japanese archipelago, and the Philippines. A large, light blue oval is superimposed over the map, centered on the Japanese archipelago. The text '解決の方向性' is written in large, bold, yellow Japanese characters across the center of this oval.

# 解決の方向性

- 1, 相双地区に精神科医療サービスを提供できる新しいシステム（例えば外来、アウトリーチを主とするシステム）の構築
- 2, 被災避難者をフォローしケアできる保健師を核とした精神的ケアのネットワークづくり
- 3, こどもの心の長期的ケアのプラン作りと、それを担うチームづくり
- 4, 放射能のメンタルヘルスに及ぼす影響を長期に調査し対策を講じるセンターづくり



望みたいこと



1, 相双地区に新しいシステムを作るために  
知恵とマンパワーを貸して頂きたい

2, こどものこころのケアに専門家の継続的  
支援を御願ひしたい

3, 放射能被ばくによる影響を調査し対策を  
講じるために専門家の知恵を貸して頂きたい